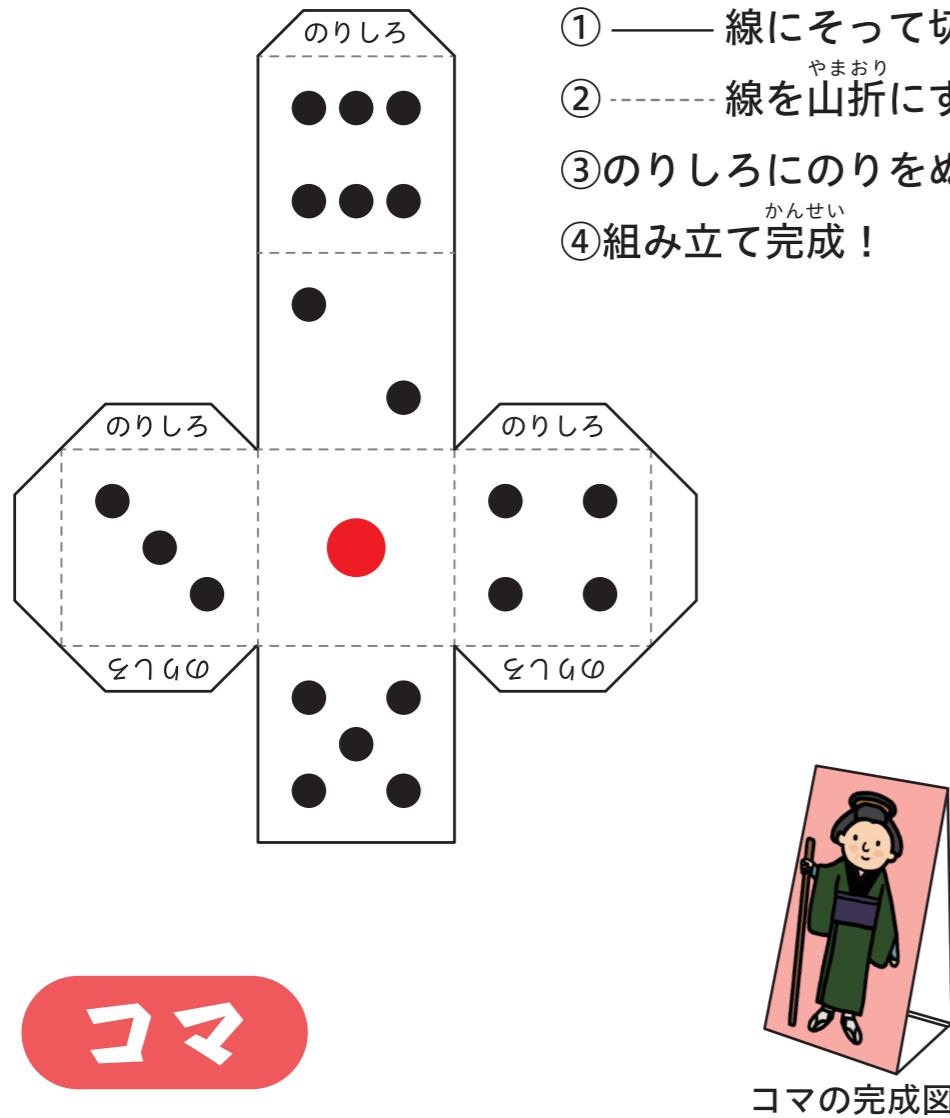
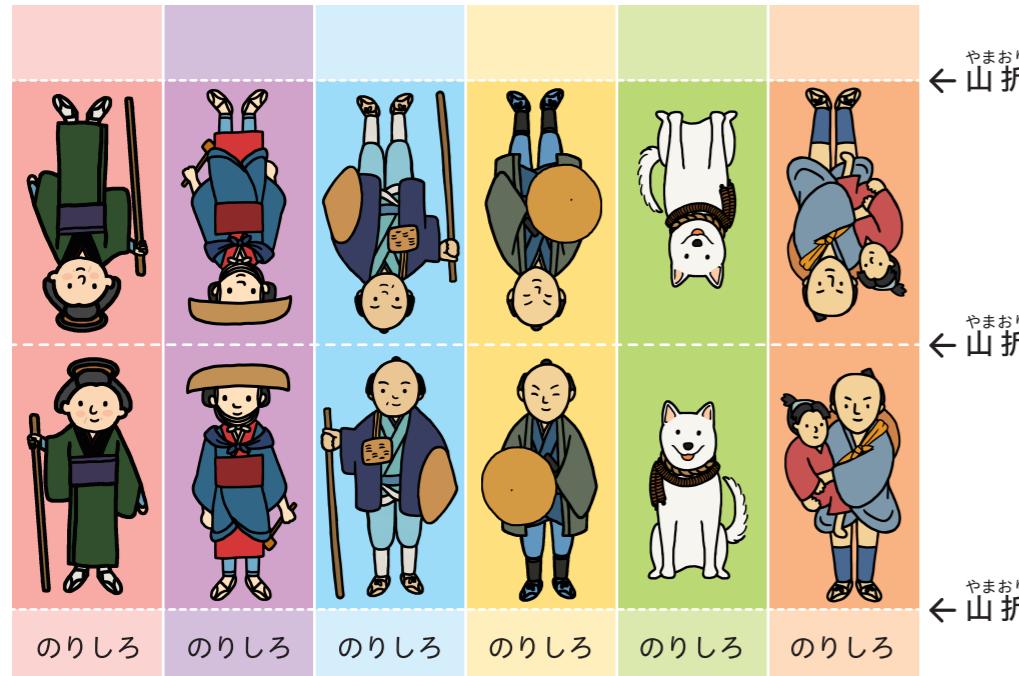


## サイコロ



## コマ



## おみやげ カード

線にそって切って  
カードを作ろう



ひなわ  
**火縄** [関]

竹をよりあわせて作ったもので、火がきえにくくべんりです。  
火縄銃やたばこの火種としてつかわれました。



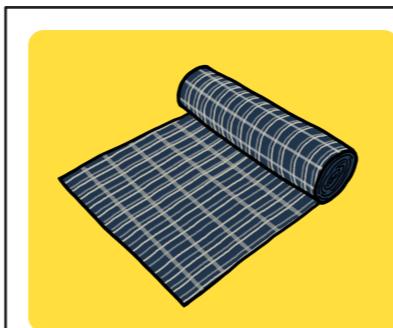
ひなが  
**うちわ** [日永]

細い竹を1本そのままつかって、手でもつところとあおぐところが作られています。すずしい風が旅のおともにぴったり！？



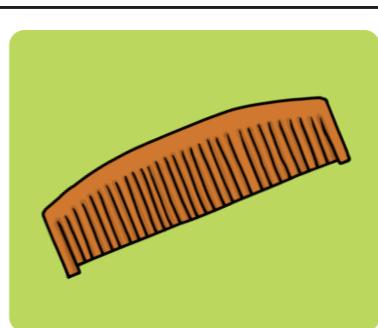
やきごめだわらしうの  
**焼米俵** [庄野]

火を通した米をつめた手のひらサイズの小さな俵です。なかみはそのまま食べられるので、旅のおやつにもおすすめです。



まつさかしま  
**松坂縞** [松坂]

藍で染めた糸でおられた青いしまもようのぬのです。江戸ではおしゃれでじょうぶな着物として大人気でした。



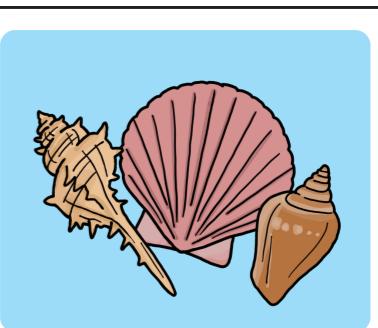
おかもと  
**くし** [岡本]

木で作られたくします。このくしは、うでのよい職人が作っていると人気でしたが、ねだんが少し高かったようです。



まんきんたん  
**万金丹** [朝熊]

旅に持っていくおなかのくすりとして人気でした。黒くて丸い形から「はなくそ丸めて万金丹」とも言われました。



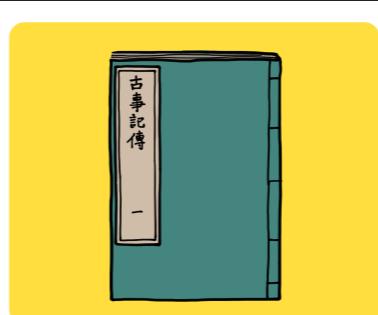
かいざいく  
**貝細工** [二見浦]

海に近いので、きれいな貝がらが人気でした。手でもつたための棒をつけて柄杓にした貝細工もあったようです。



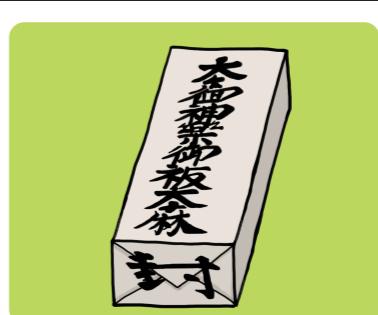
きんりゅうがん  
**金粒丸** [熊野詣へ行く]

旅に持っていくおなかのくすりとして人気でした。多気町には、くすりを売っていた店の看板がのこっています。



のりなが  
**宣長さんの本** [松坂]

宣長さんは、お医者さんをしながら日本の歴史や古い書物を研究していました。『古事記伝』などたくさんの中を書きました。



おんしやしき  
**おふだ** [御師屋敷]

御師は神宮におまいりする人たちのおせわをしたり、神樂をあげたりしました。神樂をあげるとくべつなおふだがもらいました。



ぎかくし  
**擬革紙たばこ入れ** [明星]

しづを入れたり色をつけたりして、革そっくりに作った和紙でできています。本物の革は手に入りにくかったので人気でした。